

●ふ乞を記附御旨るた見てに『まづみ』は節の用御へ主告廣●

新刊 (三月二十日発刊のみ)

- 音楽新報 三ノ二
- 渡米雜誌 十ノ三
- 園藝の友 二ノ三
- 歴史地理 七ノ十四
- 高等女學講義 二ノ五、六
- 先世 一ノ五
- 歌舞伎 七十一
- 劇界唯一の雜誌にして斯道に興味を有するものは左右に缺くべからず
- 中央公論 二十一ノ三
- 新公論 二十一ノ三
- 帝國文學 十二ノ三
- 藝苑 三
- 東海中立新聞 每號
- 學燈 十ノ二
- 能樂 四ノ三
- 正氣 二
- 家庭の友 三ノ十二
- 文庫 三十一ノ二
- ハガキ文學 四ノ三
- みづつ 潮(ハガキ文學増刊)
- 英學 生 三ノ七、八
- 寫眞報 每號
- 寫眞界 二十
- 寫眞好 四ノ二

- 音樂新報社
- 渡米協會
- 園藝研究會
- 歴史地理研究會
- 高等女學會
- 先世社
- 歌舞伎發行所
- 反省社
- 新公論社
- 帝國文學會
- 左久良書房
- 東海中立新聞社
- 丸善株式會社
- 能樂館
- 啓發社
- 内外出版協會
- 同日本葉書會
- 同西社
- 東四寫眞店
- 日本寫友會
- 桑田商會
- 三越吳服店

- 甲矢 二ノ六
- 月刊スケッチ 二ノ十一
- 手紙雜誌 四ノ二
- 新古今文林 二ノ四
- 日本美術 八十三
- 白百合 三ノ四
- 卯杖 四ノ三
- 校友會月報 每號
- 美術新報 四ノ二十二、二十一
- 日本園藝雜誌 如月の巻

會告

●學校又は同志の間に、寫生會、エハガキ會等の設けあるものは、其景況をなるべく詳しく通報せられたし

●前項團體及び個人の作品の現物、若くは寫眞を寄贈せらるれば、優秀なるものに限り、寫眞版に付して、本誌に登載すべし但作品は、左の事項につき廣く投書を求む

□水彩畫に志せし最初の動機

□始めて戶外寫生を試みし時の感

□寫生中に起りし興味ある出來事

□畫を學びし爲めに得たる顯著なる利益

□其他水彩畫に關する意見、報道小品、文筆

以上一切の期を定めず、半紙十行二十字詰にて、簡単に、字體明瞭(假名は平假名に限る)に認められたし

●繪畫及寄稿にして、本誌に登載せしもの内、優秀なる作に對しては、主任、藤次郎の肉筆、繪葉書一葉を贈るべし

●投稿の返戻を望まるゝ方は、相當の郵券を添へられたし

●水彩畫に關する質問にして、一般讀者に有益と認むるものは、答を紙上に掲載すべし、但初めより返信料を添へられしものは、直ち眞野紀太郎氏に、遠近法に關する質問に答えらるべし

●但複雑なる圖説を要するものは、此限りにあらず

- 甲矢發行所
- スケッチ會社
- 有樂社
- 近事畫報社
- 日本美術社
- 東京純文社
- 秋聲會出版部
- 東京美術學校
- 日本園藝會社

(後付の二)